

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	2	3	土	9:00	13:30	五味ヶ谷市民の森	14
活動名称	五味ヶ谷整備					報告者：小嶋	

＜活動目的＞

- 昨年末の門松教室で出た竹残材の処理・整備をし、安全、安心な環境を維持、管理する。
- 都市緑化機構のスポンサーである第一生命財団の来訪を受け、その取材に対応する。

＜主な活動内容＞

- 竹林内に残っていた竹残材をチップパーにより粉碎処理した。
- 森内のくぼ地がある場所をならして平らにした。
- 寒い時期なのでドラム缶で焼芋を作り、皆で食した。
- 第一生命財団から2人（総務部長：鳥居氏、出版・編集：佐藤氏）が取材に来られたので当クラブの各種資料・冊子等を提供し、クラブ活動内容を説明した。また、森内の写真撮影に協力した。

＜課題・評価＞

- 竹林内の残材処理はほぼ完了できた。
- 1月6日の竹林火災は残材が少なかったことが森の大火事にならなかったのも、森内の整備を常に実施していく必要性を改めて再認識した。また、火災跡を見ると竹林内の通路が防火帯となっており、竹林内の空間を維持・整備していく大切さを感じた。
- 第一生命財団の取材結果は、5月に「コミュニティ」という雑誌の巻頭4ページに写真を中心に掲載されるとのこと。（今後、必要写真の提供要請、レイアウト確認等がある予定）発行部数5,000部ということなので当クラブの広告・宣伝に寄与されることが期待される。

＜里山参加会員＞

（上段）井上、柳川、小沼、阿部、金、内藤、脇谷

（下段）吉井、風祭、牛島、小嶋、村上 （撮影：小澤邦 柏木）

＜活動写真＞





竹林の枝をチップ処理



敷地の窪地の整備



焼き芋



火災跡地の整備